

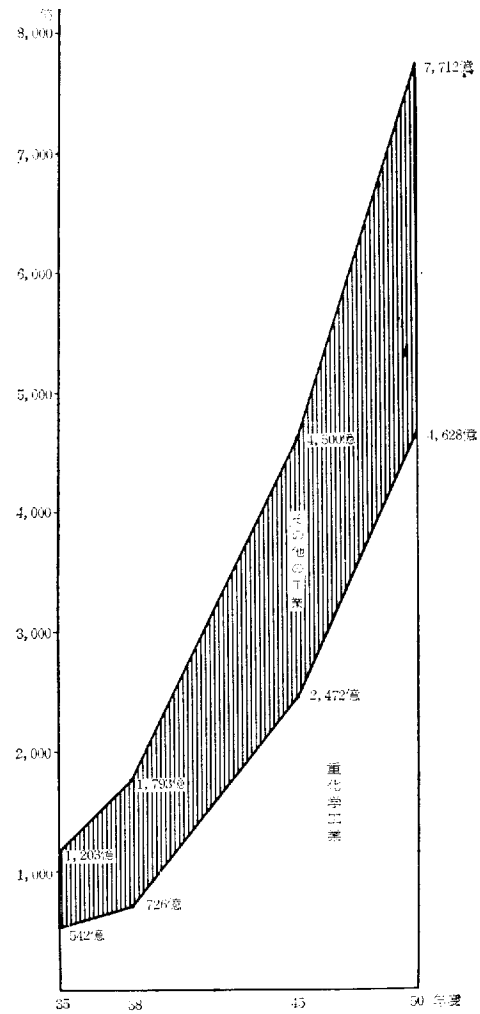
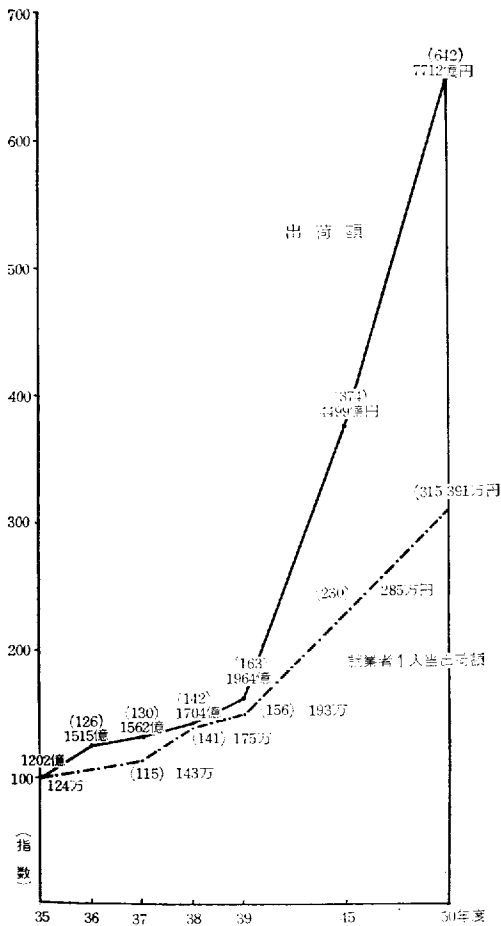
第 5 節 重化学工業を中心とする工業化の推進

1 本県工業の推移と見通し

第2図でみたとおり、第二次産業の就業者数は、昭和35年現在で、全産業の19%で、全国の29.1%に比べて相当低く、第二次産業の立遅れが目立っている。昭和39年まで伸びの実績も低い。第22図は、工業の出荷額と就業者1人当り出荷額の推移と今後の見通しを示したものである。

第23図 工業出荷額の見通し

第22図 工業出荷額の推移と見通し



昭和33年の工業出荷額（59,036百万円）は全国出荷額（8,173,173百万円）の0.7%にすぎない。また、昭和39年の工業出荷額（167,031百万円）も、全国（23,200,425百万円）の0.7%にとどまっております。工業開発はおくれている。